

元気なまちかど

1 news あいこうか市民ホール夏休み体験講座

ねんどが動くアニメに感動

ねんどを使ってアニメーションを制作する体験講座が7月19日、あいこうか市民ホールで行われ、小学生50人が参加しました。

グループに分かれてストーリーを考え、ねんどで作ったキャラクターを変形させながらカメラで撮影。一秒の映像に10枚の画像が必要とあって、協力しながら動きに工夫をこらし、子どもたちの豊かな発想力で夢のある作品が出来上がりました。

作品発表では、自分たちの作ったねんどのキャラクターがスクリーンの中で動き出す様子に歓声を上げ、会場からは惜しみない拍手が送られました。



▲ねんどを使ったアニメ作りに熱中することたち

2 news 庭木をボランティアで移植

滋賀県造園協会湖南・甲賀支部

市役所新庁舎建設工事を控え、水口庁舎正面玄関前の庭木（高木15本、玉サツキ約20株）を県造園協会湖南・甲賀支部18人の皆さんが7月18日、ボランティアで甲南庁舎の敷地へ移植しました。

剪定を施し、移植された庭木は、新庁舎が完成した後、周辺の造園木として再利用することとしています。同支部では、移植までの間の管理について、奉仕作業で続けたいと話しています。



▲手際よく移植作業を行う様子

3 news 花火指導 山内保育園

安全に花火を楽しむために

山内保育園の花火指導が7月23日行われました。消防署員から、人に向けない、終わった後は水につけるなど、花火の正しい遊び方の説明があった後、実際に年長の園児らが署員と一緒に花火に火をつけて注意点を確認しました。園児らは「ルールを守って花火をする」「家族や友達にも教えてあげる」と元気に約束してくれました。



▲花火の正しい遊び方を教わる園児たち

4 news 全国大会出場壮行会

水口剣道スポーツ少年団、甲南剣道スポーツ少年団、信楽陸上スポーツ少年団、甲賀JAC、伴谷小学校

スポーツ少年団等の全国大会出場壮行式が7月24日、甲南庁舎で行われました。壮行会では、選手が「悔いのないよう頑張ります」と意気込みを述べました。また、山本本教育長から「自分の力を信じて臆さず戦ってほしい」と激励の言葉が贈られました。



▲全国大会に出場する皆さん

5 news 防災かまどベンチ製作

防災意識の広がりを願って

みなくち自治振興会安心・安全委員会と東古城が丘区が7月25日、古城が丘集会所に、災害などの非常時に炊き出しができる防災かまどベンチを設置しました。みなくち自治振興会はこれまで、水口小学校や城山中学校など二次避難所に指定されている場所にベンチを設置し、地域の防災意識の広がりや向上をめざしてきました。今年度からは今までに培ったノウハウを活かして、地域で希望があったところに設置し、防災訓練などでも活用する予定です。

全国大会出場

- 水口剣道スポーツ少年団
 - 中学生団体の部・小学生団体の部
 - 落合流星さん 中学生個人の部
- 甲南剣道スポーツ少年団
 - 小学生団体の部
- 信楽陸上スポーツ少年団
 - 田中颯さん 男子80mハードル
- 甲賀JAC
 - 谷利紗さん 女子80mハードル
- 伴谷小学校
 - 坂玲哉さん 男子ソフトボール投げ
 - 境田茜さん 女子ソフトボール投げ



▲丁寧にレンガを積み上げる委員と地域の皆さん

6 news 信楽火まつり

数百年変わらぬ火への感謝

しがらき火まつりが7月25日、新宮神社と愛宕山周辺で催されました。

火まつりは、江戸時代以前から続くと伝えられ、焼物づくりや生活に欠かせない火への感謝と、火に関わる安全を願って毎年行われる、夏の風物詩になっています。

新宮神社の神前で採火された元火から火を受けた約700本の松明が、信楽の夜空を照らし、観光客など沿道を埋めた多くの人の心を魅了しました。



▲白装束に身を包んだ松明の運び手たち